



住まいる通信

2021年
5月号

「発行」(有)アシストホーム

少し汗ばむ陽気になってきましたが、5月はまだ湿気も少なく1年の中でも過ごしやすい季節ですね。来月に入ると梅雨のシーズンです。ご自宅は『雨漏り』していませんか？梅雨に入る前に、ご自宅の雨漏れチェックをしてみたいかご存知ですか。雨漏れは意外な場所から見つかる場合もあります。雨漏れの原因と対策について特集致します。

雨漏りしているところはありませんか!!

★雨漏り箇所★



- ① 屋根…経年劣化でひび割れしている所から雨漏り
- ② 破風板…屋根の先端にある板材からの劣化による雨漏り
- ③ 窓…窓周り、サッシの隙間から雨漏り
- ④ 天窓…窓周りや屋根から天窓に伝う雨漏り
- ⑤ サンプルーム…コーキング剤の劣化でつなぎ目から雨漏り
- ⑥ ベランダ…防水施工が劣化しひび割れ、剥がれから雨漏り
- ⑦ 外壁…外壁材の劣化やコーキングの劣化から雨漏り
- ⑧ エアコン配管…外壁貫通部のコーキングが劣化し雨漏り

★雨漏り原因 放置すると危険★



『雨漏り』と聞くと屋根を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、上記の【★雨漏り箇所★】の通り、意外と屋根以外の箇所も多いのです。一番の雨漏り原因は「経年劣化」と言っても過言ではありません。定期的に点検しましょう。屋根や天窓等高い所は危険なので、専門業者に点検してもらいましょう。点検の目安として、築10年以上経過すると、劣化箇所も増えてきます。大切なご自宅を長く住み続けるためには早めのメンテナンスが必要です。

『雨漏り』をそのまま放置しておく、家の天井や壁にシミができたり、カビの原因になることもあります。また建物の木材や鉄骨が腐食して、建物の寿命が短くなるケースもあります。また、雨水によって漏電の危険性もあるので、雨漏りを発見したら早急に修理しましょう。

◇雨漏りと間違いやすい原因◇

「漏水」と「結露」は雨漏りと間違いやすい原因です。雨漏りと同じように天井や壁にシミが出来たり、水が漏れてきたりと…。漏水の場合は配管が破損している場合もあるので、被害箇所が大きくなる前に専門の業者にみてもらいましょう。

★雨漏り 対策と応急処置★

【屋根】…屋根に登っての応急処置は大変危険ですので必ず業者にまかせましょう。屋根からの雨漏りを発見したら、業者に連絡して早めに対策しましょう。台風や豪雨などで被害が大きくなる前に修理することをお勧めします。

【窓】…防水テープで外部雨漏り箇所がわかればテーピングしましょう。

【外壁】…ひび割れや穴があいてないか、外壁を触って手に白いものが付いていないか、外壁周りを確認してみましょう。



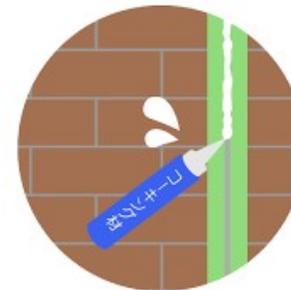
ひび割れがある箇所はコーキング剤を注入して補修しましょう。手に白いものがついていたら防水効果がなくなっているサインです。発見したら放置せず、なるべく早い段階で業者に相談しましょう。

★補修方法の一例★

コーキング剤の応急処置

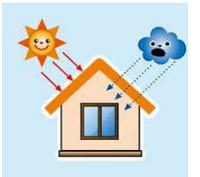
※外壁のコーキングにも寿命があります！

立地条件・気候条件・日照条件等によって左右されますが、外壁コーティングの寿命は約5年～10年位です。紫外線による劣化は大ダメージです！



◇コーキングの打ち直し手順

- ① 痛んで古いコーキングはカッターで撤去
- ② 撤去した溝を中性洗剤で綺麗に掃除する
- ③ 溝の両側にマスキングテープを貼る
- ④ プライマー（接着剤）を塗る
- ⑤ 溝にコーキング剤を流し込み、ヘラで平らにする
- ⑥ マスキングテープを剥がし、1～2日程乾燥させる



アシストホームで工事をしていただきましたお客様の声

いつも親切に対応して下さるから 大変満足しています

13年前に障子、網戸の張り替えのご依頼がきっかけだったお客様（H様）からの、今年は2回目の工事の感想を紹介させていただきます。昨年は台風で屋根の被害があり、修繕を請け負わせていただきましたが、今回は床下の修繕をいたしました。築50年の建物ですが当時の斬新な建物を丁寧に修繕しつつ大切に住まわれている様子が伝わってきます。建物は建てた時から劣化がはじまります。ただ適切な時期に手を加えることで建物の寿命は変わり、その住み心地は住まう方に影響をいたします。お客様の快適な空間作りに寄り添う存在であり続けたいと社員一同考えております。

(有)アシストホームは地元の工務店です!! 身近で気軽に何でも頼める工務店!

小さな工事から大きな工事までお気軽にご相談ください!

お問合せ等 お気軽にお電話ください アシストホーム 046-877-1127